平成 24 年 6 月 14 日

各　　位

会 社 名　　株　式　会　社　オ　　ハ　　ラ
代表者名　　代 表 取 締 役 社 長　齋藤　弘和
（コード番号 5218　　東証第１部）
問合せ先　　常務取締役経理部長　中島　　隆
（T　E　L　　042（772）2101（代表））

第２四半期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 23 年 12 月 15 日に公表いたしました平成 24 年 10 月期第２四半期連結累計期間（平成 23 年 11 月１日～平成 24 年４月 30 日）の業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

１．平成 24 年 10 月期第２四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 14,200	百万円 400	百万円 400	百万円 200	円　銭 8.22
実績値（B）	15,121	906	1,333	972	39.98
増減額（Ｂ－Ａ）	921	506	933	772	－
増減率（%）	6.5	126.5	233.3	386.0	－
（ご参考）前年同四半期実績 （平成 23 年 10 月期第２四半期）	13,061	196	317	202	8.34

２．平成 24 年 10 月期第２四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異の理由

売上高は、デジタルカメラ向けレンズブランクスやハードディスク用ガラス基板材においてタイ洪水の影響による需要減少が想定より軽微だったこと及び半導体露光装置向け高均質光学ガラスが好調に推移したことなどから、当社予想を上回りました。

損益面では、前期からのレアアース価格高騰の影響で、原料払出し単価が高止まりする中、一部製品の販売価格を改定するとともに、製造固定費の削減に努めたことにより当社予想を上回りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、売上高は液晶露光装置向け硝材の生産調整が続くものの、デジタルカメラ向けレンズブランクス等は、堅調に推移するものと思われます。また、損益面では、レアアース原料の購入価格が安定し、原料在庫の影響が一巡したものの、工程在庫による影響は予想されますので、引き続き原価低減活動を徹底してまいります。

以上のことから、前回発表の通期連結業績予想は変更しておりません。

以　上